

第4期米沢市水道事業中期経営計画 事業実施状況

基本施策		事業名・事業概要		新規 継続	実施予定 時期	平成29年度実施内容
安 全	① 水質管理体制の強化	ア 水安全計画の策定	信頼性(安全性)の高い水道水を供給するため水系ごとに水安全計画を策定します。	新規	H29～31	水安全計画作成支援ツール簡易版を使用し、一部について作成した。
		イ 水質検査計画の策定・公表	毎年度水質検査計画を策定し公表するとともに、水質検査結果も毎月公表します。	継続	H29～	4月に水質検査計画及び水質検査結果を公表した。
	② 良質な水の追求	ア 老朽管更新	老朽化した普通铸铁管を耐震管に布設替えします。	継続	H29～32	老朽管(配水管)の更新耐震化を実施した。 L=1944.5m
		イ 鉛製給水管交換	宅地内の鉛製給水管を新しい給水管に交換します。	継続	H29～	東大通1～3丁目、通町1～2丁目を対象に353件の交換を実施した。
		ウ 貯水槽水道設置者への指導・助言	安全な水が給水されるよう、貯水槽水道の設置者に対し指導・助言を行います。	継続	H29～	広報よねざわ(5/15号)に管理について掲載し、簡易専用水道検査結果報告に基づき指導助言を行った。
③ 自己水源(地下水)の保全	ア 自己水源の点検・整備	非常用水源として、成島及び南原の地下水源の点検・整備を行います。	継続	H29～	動作確認及び水質検査を実施した。	
強 靱	④ 管路の計画的更新(耐震化)	ア 重要管路の耐震化	重要管路耐震化計画(米沢市地域防災計画に基づいた、避難所・病院等への重要管路である送水管、配水本管及び配水支管の耐震化計画)に基づき、配水管の耐震化を図ります。	新規	H29～	重要管路(配水管)の耐震化を実施した。 L=585.7m
	⑤ 施設の計画的更新(耐震化)	ア アセットマネジメントの実施	更新需要と財政状況を勘案し、老朽施設(管路を含む。)の計画的な更新を図ります。	継続	H29～	計画的に老朽管の更新を実施した。
		イ 水道施設の耐震性評価・耐震化計画の策定	配水池など水道施設の耐震診断を行い、耐震化計画を策定し、耐震化を図ります。	新規	H29～	配水池の耐震性能評価を実施した。
		ウ 舘山配水池の更新	老朽化した舘山配水池を更新します。 (※⑦イ舘山配水区受水施設整備に合わせて更新します。)	新規	H32～33	—

強 靱	⑥ 応急体制の強化	ア 各種マニュアルの整備 (見直し)	水質汚染事故、地震、濁水等に備え、対応マニュアルを随時見直します。	継続	H29～	対応マニュアルの緊急時連絡網等を整備した。
		イ マニュアルに沿った訓練の実施	災害時に適切な応急復旧・給水を行うため各種マニュアルに沿った訓練を実施します。	継続	H29～	市総合防災訓練において応急復旧訓練を実施した。
持	⑦ 施設規模の適正化	ア 配水計画の見直し	老朽化した館山浄水場を廃止し県水からの受水を増量することに伴い、配水計画を見直します。	新規	H29	館山浄水場を廃止した場合の県水の増量について協議中。
		イ 館山配水区受水施設整備	県笹野浄水場から館山配水区への受水施設を整備します。	新規	H29～33	館山配水区受水施設基本計画策定業務を完了し、新館山配水池を計画 中。
持	⑧ 事業経営の効率化	ア 民間委託の推進	水道施設運転管理業務や水道料金等収納業務の民間委託を継続するほか、民間委託の対象となる業務の拡大や見直しを行います。	継続	H29～	水道料金等収納業務委託の長期継続契約更新時に対象となる業務の見直しを行った。
		イ 簡易水道事業経営のあり方の検討	独立採算が難しい白布高湯簡易水道事業及び板谷簡易水道事業のあり方を検討します。	新規	H29～	料金水準や経営状況について、地元代表者との話し合いを持った。
		ウ 広域化の調査・研究	水道事業の広域化について調査研究を行います。	継続	H29～	県と連携し、広域化の可能性について検討を行った。
続	⑨ 職員研修の充実	ア 各種研修への参加	水道事業における専門的知識や技術の習得のため各種研修会に参加します。	継続	H29～	日本水道協会や公的機関、日本経営協会が主催する研修等に参加した。
		イ 指定給水装置工事事業者の研修の実施	本市指定給水装置工事事業者を対象とした研修会を実施し、レベルアップを図ります。	継続	H29～	3/27すこやかセンターにて実施した。
続	⑩ 水道料金の適正化	ア 適正な水道料金の算定	平成31年度以降の上水道料金について新たな料金算定期間を設定し、事業運営に見合った料金を算定します。	継続	H30	—
		イ 料金体系の検討	現在使用している逦増型料金体系を検証し、今後の水道料金体系について検討します。	新規	H29～	平成30年度に開催する水道事業等運営審議会において検討する。
	⑪ 料金収納率の向上	ア 債権管理の強化	収納率の向上を図るため、債権管理を適切に行います。	継続	H29～	適切な債権管理に努めた。 収納率 H28:95.03%、H29:95.16%
	⑫ お客さまサービスの充実	ア インターネットによる各種手続きの導入	使用開始(開栓)や使用中止(閉栓)などの申し込みをインターネットで行うことができるよう検討し、導入します。	新規	H29～	平成29年12月からホームページに申し込み方法を掲載し、Eメールにて受付を開始した。(H29実績21件)

持	⑫ お客さまサービスの充実	イ	広報・ホームページによる情報提供	水道事業に係るさまざまな情報を広報よねざわやホームページを活用して積極的に情報の提供を行います。	継続	H29～	各種イベントや緊急的な情報をホームページに掲載した。
		ウ	水道事業独自の広報紙の発行	お客さまに水道事業をより理解していただくため、水道事業独自の広報紙を発行します。	新規	H29～	よねざわ水道だより創刊号を発行した。(12/1)
		エ	水道事業経営懇談会の開催	お客さまの意見、要望を事業運営に反映するため、水道事業経営懇談会を開催します。	継続	H29～	7月に委員委嘱し、2回懇談会を開催した。(7/25、10/5)
		オ	水道施設見学会の実施	全国水道週間に合わせ、市内水道施設の見学会を実施します。	継続	H29～	水道施設めぐりを実施した。(6/7)
		カ	イベント出展等によるPR	水道事業のPRのため、市主催のイベントに出展します。	継続	H29～	米沢市生涯学習フェスティバルに出展し水道事業をPRした。(10/7、8)
続	⑬ 水資源の有効利用	ア	漏水調査	毎年度計画的に配水管、給水管の漏水調査を実施します。	継続	H29～	漏水調査を実施した。延長(配水管)230km、戸別(給水管)1,700戸
		イ	漏水修理	漏水を発見したら迅速に修繕を行います。	継続	H29～	130件の漏水修理を実施した。
持	⑭ 環境対策の推進	ア	浄水発生土の有効利用	浄水過程で生じる汚泥(浄水発生土)の有効利用を図ります。	継続	H29～	浄水発生土を再生砕石に流用し、リサイクルを行った。
		イ	建設発生土のリサイクル	水道工事における建設発生土のリサイクルに取り組みます。	継続	H29～	建設発生土を埋立地に流用し、リサイクルを行った。
		ウ	省エネ行動の実践	事務用品の再生品使用、休憩時間の消灯、室内温度の適正化などに取り組みます。	継続	H29～	事務用品のグリーン購入やこまめな室内温度管理、早期のクールビズ推奨を行った。

第4期米沢市水道事業中期経営計画 目標(中期指標)の達成状況

(単位：人、m³、百万円)

項目	目標、経営指標	平成29年度			平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
		目標値 (予算)	実績値	評価	目標値	目標値	目標値	目標値
需要予測	給水人口	80,925	81,345		80,749	80,571	80,394	79,825
	年間配水量	9,913,035	10,191,351		9,849,890	9,805,872	9,709,365	9,614,465
	1日平均配水量	27,159	27,922		26,986	26,792	26,601	26,341
収益的収支	営業収益	1,836	1,845	○	1,824	1,817	1,800	1,787
	営業費用	1,591	1,565	○	1,586	1,586	1,589	1,865
	経常損益	336	380	○	331	326	308	21
	特別損益	0	0	○	0	0	0	0
	当年度純利益	336	380	○	331	326	308	21
資本的収支	収入計	80	78	○	72	1,071	39	38
	支出計	585	465	○	703	1,085	1,498	1,902
	不足する額	504	387	○	631	14	1,459	1,864
	内部留保資金残高	2,646	3,446	○	2,751	3,574	2,846	1,703
設備投資計画	老朽管更新事業	208	215	○	208	209	209	
	館山配水区受水施設整備事業	15	5	-	100	500	900	1,300
	重要施設耐震化事業	133	77	○	136	135	135	344
	配水管布設・布設替事業	55	20	○	60	60	60	60
	汚水管布設に伴う水道管移設事業	25	13	-	30	30	30	30
	施設・機器・計器等整備事業	42	29	○	38	38	49	51
	営業設備	4	1	○	25	5	5	5
企業債残高	企業債残高	1,296	1,296	○	1,190	1,083	973	860
中期指標	有収率(%)	87.7	82.7	×	88.0	88.3	88.6	88.9
	総収支比率(%)	120.7	123.9	○	120.5	120.2	119.1	101.1
	営業収支比率(%)	115.4	117.9	○	115.0	114.6	113.3	95.8
	職員給与費対料金収入比率(%)	11.6	11.3	○	11.7	11.8	11.9	12.0
	収納率(%)	94.4	95.2	○	94.4	94.5	94.5	94.5

※評価は平成29年度米沢市公営企業会計決算審査意見書(米沢市監査委員)による

※有収率が目標を下回った理由について

年間配水量については目標値を上回っているが、配水量には年度末時点で有収水量とならない推定漏水量が含まれている。平成29年度は、冬季の気温が平年に比べ低く、給水管等の凍結破損の件数も多かったため、漏水量の増加や出し水等による使用水量の増加が考えられる。

本市では基本的に12月から翌年3月までの4か月間は検針を行わず、推定水量により料金を徴収し、4月以降に検針を行った際に精算しており、推定期間の水量の増加分は翌年度の有収水量とされるため、今年度の有収率が目標を下回ったと推測される。

○総収支比率…総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す。100%以上が望ましい。

○営業収支比率…営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す。高いほどよい。

○職員給与費対料金収入比率…料金収入に対する職員給与費の割合。低いのが望ましい。

○収納率…使用された水量に係る料金のうち、実際に収納された料金の割合。高いほどよい。